

緑風だより



3月

(2022年3月発行・編集：岡本 亘)

日に日に暖かさが増し、少しずつ校庭の桜のつぼみが膨らみ始めました。いよいよ春の到来です。

この1年間、寮では実にいろいろな出来事があり、新型コロナウイルス感染症とも闘ってきました。そうした経験の数々が、一人ひとりを大きく成長させてくれたに違いありません。

同じ目標を持った先輩や仲間と切磋琢磨する姿こそが、文武両道に繋がります。また、親元を離れた生活により、自立心や忍耐力、協調性が身についたり、両親をはじめとした周囲の人々への感謝の気持ちも育ったのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の第6波もなかなか衰えを感じません。引き続き感染予防対策をしっかりとしていきます。



【春を待つ寮の梅】

3月1日:卒業式

令和4年3月1日(火)、令和3年度卒業証書授与式が行われました。コロナ禍ということもあり出席者数を制限しての実施となりましたが、ライブ配信も行い、多くの人に見送られ144名の卒業生が巣立ちました。今年度の3年寮生16名も年末から退寮していく生徒があり寂しい気持ちでしたが、1、2年生が先輩の思いを受け継いで寮を運営し、頼もしく新年度を迎える準備をしています。

卒業式では寮生で生徒会長でもある、田村佑市郎君が送辞を務め、答辞は水球部の主将でもある北中佑介君が育英での3年間を語りました。



送辞：田村佑市郎



答辞：北中佑介

新年度を迎える準備

3月は高校入試があり、17日には合格発表がありました。22日には合格者説明会があり、入寮者への説明会も行いました。寮では新2、3年生の部屋割りを考え、新入生がいつでも寮に入れるよう準備を進めています。寮内の清掃はもちろん、各部屋の掃除、整理整頓をしっかりと気持よく新年度を迎えられるようにしてほしいと思います。

1年間の専任舎監を通して

令和3年度より専任舎監が配置となり、1年間務めさせていただきました。特に新型コロナウイルス感染症の予防対策を重点に、寮内の消毒や清掃、寮生の生活などを見てきました。何より感染予防ができたこと、寮生が大きな病気や事故もなく過ごせたことが良かったと思います。また、主とする部活動で活躍してくれたことが大変嬉しかったです。

緑風寮は平成4年から始まり、今年度で30年が経ちました。建物は少々古くなりましたが、中身の生徒はより立派になってほしいと思い、多くの助言や苦言を呈してきました。緑風寮は部活動において全国大会へ挑戦する高い意志を持つ生徒が集団で生活する場となっており、校訓「克己」を実践できる人間力を育成し、人格の向上に向けて努めると心得にあります。

心技体と言いますが、寮生を見てきてまずは心を養ってほしいと思います。素直で謙虚な心が競技力向上につながるのではないのでしょうか。新年度を迎えるにあたって今一度『心』を見直してほしいと思います。

4月行事予定

- 7日(木) 新任式、始業式、入学式、入寮式
- 8日(金) 学年集会、服装検査、部紹介
- 11日(月) 面接週間(～19日)
- 28日(木) 考査時間割発表

緑風だよりは学校ホームページにも掲載します。

アドレス「<http://www.tottori-ikuei.jp/>」